



未来の先生展
2017

新感覚の授業を話そう 英語・道徳・プログラミング学習、そして算数

開催日時 2017年8月27日(日) 16:20-17:50

場 所 武蔵野大学有明キャンパス1号館3F 308教室

講演者 横山駿也（教育の出版社さくら社代表取締役）

内容

子供達が自力で学ぶ授業展開。それが求められる時代になってきました。これまでのように先生が何から何まで教える授業から、そろそろ転換する時期に来ています。そういった小学校の先生向けの話です。

指導要領の改訂により、小学校には、英語、道徳、さらにはプログラミング学習までやってきます。実に大変なことです。それでも、授業展開を「子供達が自力で学ぶ」スタイルに転換していけば、この大変さが逆に楽しみになってきます。それをどう行つか、英語・道徳・プログラミングに加えて、算数で具体的に話す予定です。

ここに注目！

道徳は、今話題の「道徳読み」について話します。子供達の心にある道徳心を引き出す、かつて無い指導法で、「目から鱗でした」と先生方から驚きの声が続出しています。「詳しく知りたい」という声が多く、来年の3月には書籍『道徳読み』も刊行予定。英語は英語ソフト（『子どもが夢中で手を挙げる外国語活動』）や、新発売の『わくわくプリント』を使った楽しい学習ゲームの授業です。算数は算数ソフト（『子どもが夢中で手を挙げる算数の授業』）を活用した「教科書の自力読み」の話をします。プログラミング学習では「究極の教えない指導」です。

講演者プロフィール



横山駿也

教育の出版社さくら社代表取締役

元小学校教員。千葉市内の小学校に24年間勤務。教員時代から多数の講演や出版活動を行う。退職後、プログラミングを習得し、小学校の授業で使う算数ソフトの開発を進める。また、教育の出版社さくら社を設立。3年ほど前からアフリカ途上国の算数授業支援活動を開始。JICA委託事業としてルワンダ共和国で算数ソフトを使った調査活動を行う。「チーム算数」主宰。「道徳読み」提唱者。

主な書著：『明治人の作法』（文春新書）、『行儀作法の教科書』（岩波ジュニア新書）、『子どもが夢中で手を挙げる算数の授業』（さくら社）、『学校クイズ王』（ほるぷ出版）他、130冊ほど。

講演者から参加者へのメッセージ

道徳のクイズを一つ。

問題： 人には優しく接します。では、自分には？

「こんなの簡単だ！ 厳しくだ！」と思った先生、いませんか。その答えは、愛媛の小学校4年生が答えてくれたのと同じです。国語なら正解かも知れませんが、道徳ではイマイチです。この問題、講座で時々話しますが、ズバリと正答できた先生はまだ一人もいません。

答えに心配のある先生、ぜひ、御参加下さい。参加できない場合は、来年3月刊行予定の『道徳読み』（さくら社）を御覧下さい。

